

## 自分を受け入れる



## 人権学習～松永先生のお話より

7月6日火曜日5限, アリーナにて人権学習を行いました。一人一人の人権が尊重されるって、どういうことだろう。共に生きるとはどういうことだろう。9年生の学年の先生であり, 1組の担任の先生である松永和朗先生からお話いただきました。

そのお話を受けて, みんなの声を紹介します。

「この左手をもって生まれてきて良かったことは何ひとつない」という言葉は印象的でした。けれど松永先生は, 左手の違いに気づかない人がいるくらい, 普段から明るくみんなに接しておられます。だから, 先生がたくさんの人に支えられてここまで来た, と言われたときに, 逆に支える人達が, ハンデがあるのに明るくふるまう先生を見て, 支えられていたのかもしれないなと感じました。

自分が成長するには, 失敗や苦しみ, 苦しさや憎しみから成り立つと思った。松永先生はすごいことを話してくれて, 多分みんなも心に刺さるものはあったと思う。これからの人生, 辛いことや諦めたくなるときがくると思うが, そこで諦めるのではなく, どうしたら諦めなくてすむか, どうしたら良い結果になるのかを考えていけたらと思う。弱者は弱い者ではない! 一番強くなる者だね!

中学校に入ると人と違うことをするのが嫌だという話は共感できたし, そういうつらいときこそ周りにいる人が大きな支えになってくれるのだということを改めて感じました。当たり前で気づきにくいかもしれないけれど, 周りにいる人によって支えられていることを再認識できました。また, 先生が, 周りの人たちとの関係が自分を受け入れるきっかけになったと言っていたように, 周りの人の存在は大きいと思いました。私も誰かを支えられるような存在になれたらいいなと思いました。そのためにも, 人権について自分なりに考え日常生活で生かしていきたいと思います。

人は皆違ってそれぞれに色があるということを改めて感じることができました。周りと比べて自分に落ち込むこともあるけれど, 同じ人は絶対にいないし, 生まれもった個性を自分で育てていくことが大切だと思いました。互いに相手を認め, 尊重しあえる仲間づくり, 否定せずに受けとめることで輪は広がっていくと

思うので、まずは自分が人としっかり向き合い、信頼される人を目指したいです。特に中身の素敵な人になれるよう、普段から言葉遣いや人と接する態度を意識して過ごしていきたいと思いました。

もしかしたら松永先生と同じような悩みや、ほかの悩みを抱えている人がいるかもしれません。自分はそういう人を知らず知らずのうちに傷つけているかもしれません。人権はあまり自分に関係がないと思っていたけれど、今日の話で、すごく関係があることがわかりました。色んな人を傷つけないように、もっと人権を大切にしたいと思いました。

松永先生には様々な相談をしますが、どんな話をしているときでも、悩んでいることがばからしくなるくらいサッパリしていて、自分も元気にまた前向きにがんばろ！って思えるなどいつも思います。私も、私と話したら楽になった！とか、明るくなれた！とか、周りを受けとめられるような芯のある人になりたいです。周りに嫌われたくないとか、認めてほしいとかの心情で動いてしまうことがときどきあるので、まず自分の長所を認めて、ドンと構えられるような人になりたいです。今日、松永先生のお話を聞くことができて本当に良かったなと思います！ もっとたくさんお話ししたいです。

自分のコンプレックスを受け止めて、力強く生きている松永先生の姿をカッコイイと思ったし、すばらしいなと思いました。私にもコンプレックスがいくつかあって、確かにそれを隠そうとしていたなと感じました。そのコンプレックスを受け止め、自分らしく生きることは、私にはまだ難しく、できないかもしれないけれど、周りの人に相談してみるとか話してみることはできるし、してみようと思いました。

今まで自分の存在や全てを否定していたけれど受け入れることも大切だなと思いました。それと、人のことも受け入れるべきだと思いました。嫌なことやきらいなものを否定し続けるのではなく、見方を変えたり、良いようにとらえると違ったものになってくるのではないかと思います。

自分もずっと誰にも相談しないで親に強く反抗していました。今もこれからも受け入れることができても嫌なものとか思えないけれど、他人にあたるのはやめます。松永先生、大好きです。これからも部活、見に来てください。

松永先生は高校生くらいまでは手のことを嫌に思っていたのかもしれないけど、大学生頃から自分を受け入れてくれる人と出会えたっていうのは、とてもすてきなことだと感じました。松永先生の話聞いて、人権っていうのは人の権利というより、受け入れられる権利は誰でも持っている、という意味に自分なりに解釈することができました。自分はまだまだあまり慣れなくて大変だと思うこともあるけれど、松永先生みたいに、明るく、自分のことを理解しつつ、周りのみんなともすこしずつ仲良くなっていきたいなと思いました。

いつもみんなの側にいて元気をくれる松永先生。そんな先生のお話はみんなの心に届いたようです。

「先生の手のこと気づいたとき、とても驚きました。そのことの重さっていうか、重大さっていうか、苦しさっていうものを感じました。」と書いてくれた人がいました。9年生一人一人がしっかり受けとめてくれたようです。そして誰もが、自分自身のこととして考えることができました。

今、あなたの周りで辛い思いをしている人はいませんか？ 人権はあなた自身が守るものです。今回の学習で学んだことすぐに行動にうつせるあなたであってほしいと思います。